

# ふれまち神出通信

地域を豊かに育む力

神出町自治協議会

会長 田中 敏憲

皆様には平素から、神出町自治協議会の諸活動に格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

『地域の活性化には、地域の魅力を高め内外に発信する力が大切になります。その為にも、若者の発想や活力が大切なのは言うまでもないことであり、若者の活力をどう取り込むかが多くの地域コミュニティの重要な課題でもあります。』これは神戸新聞の地域力に関する特集記事の一節ですが、幸いにも神出町では、消防団組織や体育委員会、小・中PTAや子ども会といった地域の未来の担い手としての組織基盤がしっかりと機能し、自治会行事を始め多くのイベントや各種団体の種々の催しで大きな力となって支えて頂いています。温もりあるふれまち活動について多くの関係機関からお褒めを頂くふれあいのまちづくり協議会の構成各種団体の皆様の存在があります。感謝にたえません。

『行事やイベントが継続できるのは地域の豊かさの証でもある。』と兵庫県立歴史博物館の小栗栖先生が述べておられますが、たしかに、行事やイベントには人々を結びつけ維持する大きな力があるようです。

計画し準備・実行までに多くの人が関わり、知恵を出し汗を出し、力を出し合うのです。その力が地域を豊かに育むと思いつながら、地域の自治会活動に長年携わってまいりました。

神出町自治協議会でも、種々の催しを、今年も推進してまいります。その催しを通じ、老若男女、沢山の住民参加の機会があることで互いの顔が見える素晴らしい地域コミュニティが築かれることを信じています。



写真は昨年末に神出町自治協議会として国土交通省まで要望活動に出向いた時のもので、一七五号線バイパス工事も北地区から小束野間が本年三月に供用となる予定で、残された田井地区から平野地区までについても、継続した事業展開が

ふれまち神出通信発行団体

神出ふれあいのまちづくり協議会

西区神出町田井三四一二

地域福祉センター

編集責任者 田中 敏憲  
編集者 西馬 義和

## 目次項

自治協議会から	1
神出支団	2
三社まいり	3
各種団体から	4
小・中学校・中PTA	5
児童館・ゴミのルール	6

成されるように各方面に要望活動を行なっているところですが、地区住民一人一人が安全で安心して暮らせる素晴らしい地域づくりにこれからも力を合わせて取り組んで参らなければなりません。各団体、住民一同力を合わせて楽しく活動してまいります。

## 二十五年は「なぜ」からの始まり

### パートナーシップ

原風景保全、育成部会  
部会長 西馬 紀雄

二十五年の希望に満ちた輝かしい、新年を迎えられたことと思えます。パートナーシップ協定の締結により、二年目も終わりに近くなってきました。三年計画で三部門に分かれ、それぞれに目標、目的を持ち現在に至っています。

その一つの部会としての、原風景保全、育成部会としての報告と、今後について述べたいと思えます。

この部会の目的は神出地域の農地、里山、ため池が織りなす美しい風景を守り育てることを目指し、土地利用(農地の放棄、転用)に関しても農業委員、自治会長との勉強会も、行政の方の協力により開いております活動の中で現在お茶山(山王神社)入口に案内板が設置され、ルート沿いに道標が設置されています。



神出中学校西ハイキング道拡幅

そして中学校の西より天王山中腹の展望台までの山中のハイキング道としての整備にも取り掛かっています。その道中にも桜の木が植えられ、皆さんに楽しんでもらえよう一日も早く整備が進むことを願っています。

何分、作業の多くがボランティア活動となり作業が思うように進みませんが、頑張っていきたいと思えます。

いよいよ開通が見えてきたバイパス一七五（小東野より北集落信号）の開通に伴い道路周辺の開発も考えられます、神出に於いても少子化、人口減が問題になっています、調整区域での住宅地の問題（自分の土地であるか、手続きに問題があるのか、先の勉強会でも問題となりました。

これらも皆さんと共に勉強しながら、子供達が住んでくれる神出を目指して共に頑張ります。

余談になりますが、つい最近こんなところに家が建っていると思ったことがあります。地元の人でもなく、分家でもないようですが、詳しいことは分かりませんが、地元の人でさえ難しいのになぜだろう、家が増えることには問題はありませんが、場所にも問題はありませんが・・・今後とも宜しくお願ひします。

パーティーナーシップ  
にぎわい創出部会  
部長 岩井 正

- 「活力あふれる水と緑とやすらぎのまち神出」の実現を目指し、にぎわい創出部会は「元気でにぎわいのある水と緑のまち・里づくり」を担当して三年目をむかえようとしています。
- ① にぎわい創出部会の二年間の取り組みは、大きく五つの視点で進めています。
- ② ハイキング道の復元に合わせた十八本の桜を中学生と植えました。
- ③ 演芸大会や神出ウオークで演奏するなど神出楽団による音のある風景を実現することが出来ました。
- ④ お花畑プロジェクトでは「ひまわり、レンゲ、菜の花、コスモス」約6haに花の植え付けを実施しました。一昨年は雨により作柄はいまひとつでした。昨年はコスモスが美しく神出を飾ってくれました。
- ⑤ 神出町魅力マップは平成二十五年度末発行をめざし直売所や花マップ、花暦データ収集中です。
- ⑥ 水辺環境の魅力向上をめざし、和合成池周辺の散策路やオニバス、アヤマなど水辺を楽しめる空間として整備を進めています。

皆様と一緒に  
神出が「元気で  
にぎわいのある  
水と緑のまち」の  
実現に向けて  
ご協力よろしく  
お願ひいたします。



コスモス

パーティーナーシップ  
安全・安心推進部会  
部長 穴田 泰久

新年あけまして、おめでとうございます。安全安心推進部会の穴田と申します。昨年九月には、皆様方の多大なるご協力により、神出町一斉クリーン作戦を行う事が出来ました。反省点で、企画実行に時間が余りなく全自治会での参加とは、行きませんでしたので、本年度、一斉クリーン作戦実行日を早く発表させて頂き全自治会参加で、行いたいと思います。

「神出町を美しく」は、我々部会での取り組みです。各自治会の皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

又、「子供、高齢者の安全・安心向上」での取り組みでは、小中PTA保護者の皆様方のご協力で危険箇所マップの作成を致しました。各自治会長様にお願ひしておりますので、少し時間を頂いての実態調査をお願い申し上げます。各自治会最低でも、立て看板二枚ご用意致したいと思っております。追加分は各自治会での協力を合わせてお願い申し上げます。

最後にになりましたが、本年度部会で、黄色いベストを追加製作中です。完成時には、各種団体、各自治会活動時に是非とも着用をお願い申し上げます、ご挨拶とさせて頂きます。

消防団活動

西消防団神出支団  
支団長 穴田泰久

平成二十四年の漢字は、「金」となった。何か違和感があり、むしろ「変化」の年だったように思う。



区間賞を勝ち取った田井班の選手の激走

二十年ぶりに重なった米国の選挙と中国の世代交代の年でもあり、日本でも民主党政権から自民党政権に変わり安部内閣が発足した。神出支団でも、昨年四月から、野口義美支団長から穴田泰久支団長に交代した。平成二十四年度、神出支団は、消防団活動に加え、運動会、神出ウオーク、防災訓練など地域活動に協力しましたが、西区消防団ポンプ操法競技会で、大きな変化があった。平成二十四年十一月四日(日)、中村副市長、嶋消防局長、中島西区長はじめ大勢の方々のご臨席をいただき、押部谷の木見中央公園で、西区消防団ポンプ操法競技会が開催された。これは、西区七支団による、三個班によるポンプ三台を連結し、標的を落とすまでの時間を競うものです。第五十三回目の今大会では、第一ポンプの最大吐出圧を0.6MPa、ホースの片手による手延べなど、安全で、確実で、迅速な競技を目指して戦った。神出支団は、規則を守り、反則点なしで、総合優勝と第一区間賞を勝ち取った。本部役員、出場三班、応援班が力を合わせて訓練した結果だと喜んでいいる。新しい年も、神出の安全安心のため、地域に役立つ活動を目指します。(文責佐伯)



優勝を勝ち取った松村総合指揮者(本部分団長) 田井班、広谷班、山西班の出場選手

三社参り

神出かたこ会会長 中嶋璋文

一月九日(水)、恒例の行事となつて三社参り。恵方(歳徳神としくしん)のおられる方位をあきの方(恵方)と呼び一か年の吉の方である。今年には南南東と云う事で、水間観音、日根神社、加太淡島神社へ百十名が観光バス三台に分乗して神出各地から出発。昨年末から続いていた厳しい寒さもこの日は穏やかな好天に恵まれてのお参りとなった。松の内が明けたとはいえ大半の方が初顔あわせで、あちこちで「おめでとーございませす。今年もよろしく」の言葉が飛び交っていた。



最初にお参りした、水間観音は一五八五年豊臣勢により根来攻の際、焼討に遭い灰燼に、その後復興するも二百年後火災で全焼、数奇な運命を辿っている。当時の秘話である「お夏、清十郎」の墓碑が祀られている。又境内には実物大の神馬の銅像が建立され、馬腹には立派な三巴の紋が刻まれていた。次に日根神社へ、天皇家に縁りあるだけあって荘厳な、たまたまいである。神武天皇の母、玉依姫(たまよりひめ)をお祀りしている所以であろう。隣接して地区(日根野)の氏神さん、日根野神社(恵比寿神社)が有り、宵戎とあって氏子さん達が三々五々お参りにいられていた。日根神社とは比べものにならない小さな素朴なたたずまいだったが、初々しい中学生の巫女さんの手でお神酒を土器(かわらけ)でいただいた時は旅心で浮ついた気持ちに我に帰った。神を敬う氏子さんの姿が心に残った。最後に加太淡島神社へ、女性が縁りの神社で朱塗りの立派な鳥居を潜ると、これまた朱塗りが主体の大きな社殿、祀られた各種人形、狸、かえる等の焼き物の数は万を超えていよう。神社では預かった人形の供養をして、神事「流しびな」が行われる事は皆様もよくご存じかと思いきや今年も交流を深め楽しい会になりました。今年も交流を深め楽しい会になりました。

### 「新年ふれあい会食会」を開催 民生児童委員協議会

一月八日、新年の挨拶と共に「ふれあい会食会」を西区役所の皆様と神出自治協議会会長、神出児童館溝端館長にご参加をいただき、いつもの会食会のメンバーと一緒に、開催しました。

中島西区長様からは、毎年神出の会食会を楽しみにしていること、日頃の区行政に対する協力で感謝の言葉がありました。また、田中自治協議会会長からは、「いれ」の話があり、入れ歯の話かと思いついて「あなたに居れば！」、「ここにいれば・・・」といった、あなたがだれかのいれぼ・になることの大切さを話され、いつもながらのユーモアに富んだお話に会場が沸きあがり、会の幕が閉まりました。

お正月恒例のバイキング料理は、神出町の野菜・米を材料に、赤飯、ちらしずし、鯛の姿蒸し、焼肉、からあげ、煮物、サラダ、デザート、ぜんざい等を民生児童委員が心をこめて調理しました。祝い膳八種盛を前に自家製の梅酒で乾杯！新年を祝い食事が始まると、あちらこちらから料理が美味しい、調理大変だったネ・・とのねぎらいも頂き、私たちには嬉しく元氣の言葉でした。

会話と食事でにぎやかな時間もあっという間に一時間半が過ぎ、体(お腹)も満腹になっていただけ後は、カラオケで十八番を披露したり、みんなで歌ったりと心も満腹になっていただけのではありませんでしょうか。

『食』を一緒にすることで、親近感も生まれ、心も和み、会話も弾み、笑顔になり、楽しいひと時を過ごしていただき、地域の方と仲良く、そして、長生きできる

糧にして頂ければとおもっています。民生児童委員は、一人暮らしの方が安心して暮らせることを願って、見守り活動や会食会、また、ふれあい喫茶、子育て広場等の地域福祉活動も行っています。

今年も、安全で安心して暮らせる神出町を目指しておられる自治協議会と一緒に、「災害時一人も取り残さない・・・」運動に取り組みができればと思っております。(文責田中)

### 活動を紹介します 神出友愛

二十四年は、市民救命講習をたくさんさせてもらい、いろんな人と出会い、教えに行っているのに、逆に勉強させてもらうこともありました。

四月から指導要綱が変わったので、慣れるまで大変でもっと練習を重ね頑張らないといけないと思っっています。

ふれあいウォークでは、吉生と池下をクリーン作戦を兼ねながら、地図を片手に普段車では通らない道を歩き、池の土手にも上がり、小さな神社や祠を見つけて感動しながら、楽しく探検をしています。



皆さんも一緒に歩き、神出通になりませんか？  
因みに、今年は池下と新々田を歩く予定です。ピンクのジャンパーを見かけたら気軽に声を掛けてくださいね。(文責亀田)

### 「ビデオ鑑賞会・ビンゴゲーム大会開催」 神出地区子ども会 会長 藤本 忠良

平成二十四年六月三十日(土)神出児童館にて、ビデオ鑑賞会・ビンゴゲーム大会を開催いたしました。子供七十六名、保護者十四名、計九十名の参加があり、にぎやかな雰囲気の中、なかな行なうことが出来ました。

まず始めに「アンパンマン」のビデオを上映しました。子供たちによく知られている人気のキャラクターなので、みんな楽しんで見てくれたと思います。

次に、みんながお待ちかねのビンゴゲーム大会です。「ビンゴ、シュート!!」の掛け声に、大盛り上がり。なかなかビンゴが出ないとヤキモキする子や、ビンゴになっても景品選びに迷ってしまう子などがいましたが、みんなに喜んでもらうことができました。

最後になりましたが、この会を開催するにあたり、お手伝い下さいました小学校、児童館の先生方、子ども会役員の皆様にご礼申し上げます。



「二十四年を振り返って」  
 神出中学校PTA会長  
 村井 喜彦

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

平成二十四年四月より、会長としてPTA活動を行ってきました。活動の中で、本部役員の皆様、地域、学校、保護者の皆様方の協力なしには行っていけなかったと思っております。例年と変わらない行事でしたが、その年々でいろいろな事があり、その度に皆様に助けをいただいております。

学校行事では、体育会、文化祭、廃品回収と本部役員の皆様、各部の役員、部員の皆様の協力、地域の皆様にはそれぞれの行事に参加をいただき無事に行事が終了しました。また、地域の行事では、神出町祭り、神出町運動会、ふれあい祭りなど本部、各部の皆様にご協力をいただきました。それぞれの行事に参加してまいりました。

\*写真は今回の廃品回収の様子です。皆様の協力で古紙・古着・アルミ缶等沢山回収することができました。ありがとうございます。



年が明け、これからまだまだ行事はありますが、皆様の協力を得て神出中学校PTAとして生徒達が楽しく、安全、安心で中学校生活を送れるように一緒に頑張っていきたいと思っております。これからも、今まで同様にPTA活動にご理解とご協力をお願いいたします。

神戸市立神出小学校  
 教頭 小原 耕司

例年以上に厳しい冷え込みが続きますが、皆様方には「健康のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動に對しまして多大なご協力を賜り心より感謝申し上げます。」

時が流れるのは早いもので、昨年の四月にこの神出小学校に教頭として赴任させていただきました。もうすぐ一年になるうとしております。この間、神出の皆様には本當に献身的な温かいご支援を頂戴しましたこと、改めて深く御礼申し上げます。

子どもたちに本の読み聞かせをしてくださるブックママの活動。六年清に神出の伝統文化(獅子舞・銭太鼓・狂言・民謡・茶道)を教えていただく活動。職工組合の方々による支援活動。五年生の稲作に対する支援活動。

三年生にブドウづくりの工夫を教えていただく活動。など。できる人から始めようというスローガンのもと、家庭・学校・地域・神戸市が一体となって地域ぐるみで子どもを支援する仕組み「神出っ子応援団」が既にしっかりと根付き、学校の教育活動の一翼を担ってくださっていることを大変心強く思います。今後とも「神出っ子応援団」の取り組みが地域の皆様のお力で安定的・継続的に実施できますよう、また、さらに拡充・発展できますよう心よりお願い申し上げます。

未来は僕等の手の中に  
 神戸市立神出中学  
 校長 新地哲政

表題の言葉は、生徒たちが考えた今年度の本校のスローガンです。大人への自立を前にして、中学生たちは無限の未来を持っていてと言えます。しかし、何もせずして素晴らしい未来が手に入る訳もなく、そのために今、自分は何をすべきかを考えることが大切となります。

中学生活において、生徒たちに全力で取り組む成功体験を積み重ねさせ、自分や自分たちに自信が持てるように頑張らせることが、我々教師の仕事だと考えております。そして、同じ思いのもと、ご家庭や地域の方々にも応援をいただければと、それはさらに効果あるものとなります。その点で、神出の地域の皆さまには、日頃より本校に對して、ご理解とご支援をいただき、本當にうれしく思っております。

今年度は、生徒たちの自立心を高めるために、体育会では生徒たちの実行委員を作り、演技内容から指導に至るまで、できるだけ生徒たちの自主性に任せました。また、学年を越えての合唱コンクールにも新たに挑戦してくれました。いずれも観ていただいた地域の方々には、労いと励ましのお言葉をいただき、生徒たちも喜んでおりました。心が不安定な時期の中学生だけに、いろいろと地域で迷惑をおかけすることもありかと思えますが、「子どもは学校と地域で育てる」というお気持ちを持っていただいております。今後とも、本校教育活動に對しまして、より一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

神出児童館のお知らせ

★学童保育クラブ入会受付中です  
 新学期を目前に、児童館では、学童保育クラブの入会申込みを受付中です。  
 対象は、一年生から六年生までの、仕事などで保護者が放課後在宅していない児童です。  
 神戸市の多くの児童館では三年生まで。神出児童館もそうでしたが、「父兄の要望を受けて二十三年度に四年生を受入れ、順次拡大していよいよ全学年が対象となりました。」  
 受付は二月一日から十六日までとなっています。締切後も申込みは可能ですが、新学期(四月一日月)からの保育を希望される場合は、なるべく早く手続きを済ませてください。  
 保護者が安心して仕事ができ、児童が安全に楽しい放課後を過ごせるよう、これからも努めてまいります。

★幼児さんはいつでも遊びに来てください  
 学校や幼稚園・保育園に行かない幼児さんは、いつでも児童館をご利用いただけます。  
 幼稚園や保育園に入園されるまで、児童館は楽しい遊び場・お母さん方の交流の場として、沢山の方にご利用いただいています。  
 赤ちゃんなのでまだ利用したことがないという方は、どうぞ気楽にお運びください。  
 きっとゆっくり過ごしていただき、親子とお友達が増えて、楽しい子育てを進めていただくこと、まちがいありません。  
 子育てのことをご相談事があれば、職員に気軽に声をかけてください。どんなことでもお話しを伺い、何か前進するきっかけをお示しできるでしょう。利用時間は、日曜祝日以外の午前九時半から午後五時までです。正午から一時間は昼休みですが、昼食を持参されると午後までご利用いただけます。

「守ってますかゴミのルール」

間違って出されたカセットボンベ・スプレー缶などが原因のゴミ収集車の火災事故が頻発しています！

ルールを守らず、他のごみに混じって出された「カセットボンベ・スプレー缶」が主な原因と推定されるゴミ収集車の火災事故が多発しています。

最後まで使い切らないうちにガス抜きを済ませ、カセットボンベ・スプレー缶は、他のごみと一緒に投入して出され、ゴミ収集車の中に入り、つぶされ、漏れたガスに火花が飛んで起こると考えられています。

必ず中身を使い切ってからルールを守って出しましょう！

カセットボンベやスプレー缶の出し方

- 1 全部使い切ってください  
中身が残ったままでは絶対に燃やさないでください。スプレー缶などは中身の出し方を守ってある場合は、その通りにしてください。
- 2 必ず火の気のない風通しのよい屋外で穴を空けてください  
穴をあける器具は、ホームセンターやスーパーなどで売っている専用のものが販売されています。
- 3 他の燃やさないごみと混ぜないでください  
燃やさないごみと混ぜると、燃やさないごみの袋が破れて燃やさないごみも燃やしてしまいます。
- 4 カセットボンベ・スプレー缶の日に焼けてください  
(燃やさないごみの袋の中に入れてください)

中身が使い切れないもの、穴が開けられないものについては、お住まいの区の環境局事業所までご相談ください。

お問い合わせ先  
 東灘 841-0161 兵庫 652-0981 須磨 731-2041  
 灘 871-1081 北 581-0460 磨水 783-0333  
 中央 251-3521 長田 652-1441 西 961-1414

当タイムも週三日あります(学校休業中を除く)。  
 なお、「四児対象のすこやかクラブ(年間会員制・毎週木曜日)」は、四月に募集します。詳細は児童館までお問い合わせください。駐車場有

神出児童館 電話：965-1424  
 FAX：965-3615  
 インターネット：神出児童館で検索

平成二十五年年度  
 神出双嶺学級生のお誘い

平成二十五年九月開講  
 平成二十五年三月で二十三年継続  
 ☆毎月第二水曜日(十時～十二時)  
 (講師の都合で変更あり)  
 ☆内容：講師による講座  
 (歴史、防災、料理、健康等)  
 ☆年会費：三千元  
 (料理一部負担、研修旅行代負担)  
 ☆問い合わせ九六五-一〇五一  
 学級委員長 藤井セツ子

- ごみステーションは美しいですか？ ○取り残しはありませんか？
- 資源回収していますか？
- 分別できていますか？ ○分け方出し方わからない方は自治会長にお尋ねください。
- 地域で勉強をしましょう！
- ☆燃えるゴミ・・・毎週 火 金 缶 ビン ペットボトル・・・毎週 水
- 容器包装プラスチック・・・毎週 水
- 燃やさないゴミ・・・第 1・3 火 カセットボンベ・スプレー缶第...第 1・3 火

平成25年度 定例教室 生徒募集(4月から)

教室名	世話人	会費	曜日・時間	会場	講師
手芸	漆原(1460)	年4,000円	第3月曜日9:30~16:00	福祉センター	三枝洋子
民踊	森本(1937)	月2,000円	毎週木曜日13:00~16:00	福祉センター	黒石紫月
フラワーアレンジメント	岩本(0243)	月3,500円(材料費込み)	第3木曜日10:00~12:00	福祉センター	藤井明子
絵手紙	亀田(0022)	月1,500円	第1・3金曜日19:00~21:00	福祉センター	岡田好博

☆受講を希望される方は、各世話人へ入会金1,000円を添えてお申込みください。  
 ☆各教室では、上記日程で教室を開催していますので、ご自由に見学してください。